ふれあいネットワーク

令和４年４月1日発行（毎月1日発行）

福祉にいがた

Fukushi　Niigata

CONTENTS

巻頭特集

生きる ―「歌は心をつなぐ架け橋」視覚障がいのテノール歌手（2・3面）

- 県社会福祉協議会、令和４年度主な事業
- 福祉しごと就職フェア２年ぶり対面開催
- 会議など対面かオンラインか、基準は？

4月号
2022
第836号

絵「霞（かす）む」　作家・佐藤葉月（妙高市）

＜作者一言＞ 頭の中が霞んでいるので英語と漢字が出てきません（特に英語は塾をクビになってから全くわからない）

バックナンバーこちらから

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 http://www.fukushiniigata.or.jp/

生きる

巻頭特集

視覚障がいのテノール歌手

ソロコンサート初めて開催

鈴木 洋さん

（五泉市村松）

自作曲から伊歌曲も 会場満席 感動の拍手

五泉市村松の鈴木洋さんはアマチュアのテノール歌手です。生まれながら目が不自由というハンディに負けず長年、男声合唱団で歌い続け、令和3年秋に初のソロコンサートを開きました。自ら作詞作曲した代表曲名を冠した「鈴木洋テノールコンサート『前をみつめて』」。会場は温かい拍手に包まれました。

〈前を向いて

あの夕焼けに向かって…

少し高く、透明感のある歌声です。コンサート幕明けには、約40年前に自ら作った「前をみつめて」を披露しました。いつもの合唱ではなく、ソロで伸びやかに歌い上げました。

令和3年11月21日の田上町交流会館。多目的ホールを埋めた約200人が高らかに拍手しました。

ステージに立っていた鍼（しん）灸（きゅう）・マッサージ師の鈴木さん。不自由な目は「光を少し感じる」程度だそうです。

40年ほど前に同じ障がいの仲間十数人で男声合唱団「どんぐり」を結成。その運営や発表会に携わってきました。しかし、ソロでのステージは初めてでした。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初の9月開催が先延ばし。ようやく実現しました。

ほかにも自ら作詞作曲した「水平線」「夕焼けに」、さらに日本歌曲や、原語でのイタリア歌曲まで、4部構成の舞台でした。この日に向け、点訳してもらった楽譜を読み、イタリア語の歌詞も覚えました。

「ソロは合唱と雲泥の差がある。だってソロは自分だけ。わずかなミスでも目立ってしまう」。高揚した話しぶりから、やり遂げた達成感が伝わってきます。

全寮制の県立新潟盲学校の小学部へ入り、中学部を経て、高等部別科ではマッサージを学びました。

子どもの頃は音楽に関心はなく、体を動かすことが大好きでした。校庭に張られたワイヤに通したパイプを握り、それを頼りに全力疾走することがありました。「足が速くてね、50（メートル）を7秒で走ったものさ」

高等部時代、生徒たちによる合唱の会に参加するようになりました。

「楽しかったなあ。歌との出合いだったなあ」

（3ページへ続く）

前をみつめて

鈴木 洋

青空のようなきれいな
暖かい街並を
すき通る風に向かって
自由に歩けたら
どんなに どんなに
素晴らしいだろう
でも今は 杖一本で
けわしい顔をして歩く
自転車 電柱 車の雨
吹雪の夜は
ほんとうにつらい
前を向いて
あの夕焼けに向かって
今から 今から
歩き続けよう

青空のようなきれいな
暖かい街並を
すき通る風に向かって
自由に歩けたら
どんなに どんなに
素晴らしいだろう
でも君は なぜそんなに
さみしい顔をしているの
仲間の歌がきこえるだろう
確かな足どりで
歩いてみよう
前を向いて
おれたちの街目指して
今から 今から
歩き続けよう

歌えば 心と心つながる
「明るく生きたい」思い込め

（↙2ページから続く）

新潟盲学校の後、長野の盲学校に編入し鍼灸を勉強。東京で3年間、鍼灸・マッサージ師として働きました。その間もアコーディオンを習うなど、音楽に親しみ続けました。

帰郷後の昭和54（1979）年、視覚障がい者の男声合唱団「どんぐり」を結成し、その2年後、旧新津市で、仲間と一緒に「どんぐり」ファーストコンサートを開きました。このステージは、自身初の作詞作曲「前をみつめて」発表の場ともなりました。

歌詞には自らの夢や願い、体験を込めました。（以下、太字は歌詞の引用）

透き通る風に向かって
自由に歩けたら
どんなに　どんなに
素晴らしいだろう

村松の中心部に亡父が治療所として使うよう、家（現在の住まい）を建ててくれました。そこへ実家から、3キロ近くを毎日、歩いて通いました。

「雪が積もると、道と側溝の境が白杖では分からなくなる。落ちてけがして、痛いやら悔しいやら」

そうした心情や、仲間への励まし、さらに、希望への気持ちもつづります。

吹雪の夜は
ほんとにつらい
仲間の歌が
聞こえるだろう
前を向いて（中略）
今から　今から

写真㊤＝初のソロコンサートを歌い上げ、両腕を掲げて拍手に応える鈴木洋さん
写真㊦＝コンサートの開幕

歩き続けよう

自宅には鍼灸師・マッサージの予約専門治療院「和（なごみ）」を構えます。しかし、新型コロナウイルスの影響で患者は激減。老人ホームへの出張治療もできなくなり、収入面で大きな痛手となりました。「生活はぎりぎり」だそうです。

生活は家事援助のヘルパーと、買い物などにはガイドヘルパーの支援を受けます。しかし見えないことの不自由さと不便さ、そして付きまとう危険は、いつになっても変わりません。

今冬も大雪の朝、雪捨てのためにふたが空いた側溝に落ちかけました。それでも弱音を口にしません。

「苦しいままで人生を終えるのは嫌だ。明るく生きていきたいんだ」

なぜ歌うのか？

「歌が聞く人の心に響くと、その人と私の心がつながったようになる。大勢の人とも心がつながる。歌が心の架け橋になる。話を100回するより、1度の歌が心をつなげてくれる」

さらに続けます。

「これまで歌ってこられたのも、ソロコンサートを開けたのも大勢の支えと励ましがあったから」。周囲への感謝を忘れません。

新潟市出身の故新井満氏が訳詞作曲した「千の風になって」のリクエストが届いています。「次」へ向け、ボイストレーニングや練習を欠かしません。

「大人数でない、ワンドリンクコンサートなんかで歌ってみたいねえ」

歌うために生きる、そして、生きるために歌う。

【鈴木洋さんへの連絡】
〈電　話〉
090(7725)2227
〈メール〉
acappellahiro@ybb.ne.jp

令和４年度の主な事業　新潟県社会福祉協議会

1　みんなで育む福祉のまちづくり

第 71 回新潟県民福祉大会

(1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上
① 新潟県民福祉大会開催事業《継続・自主、共募：2,777 千円》
開催地：長岡市　11 月 10 日
② 福祉・介護・健康フェア開催事業《継続・自主、共募：2,081 千円》
開催地：新潟市、長岡市、上越市
(2) 地域福祉活動・市町村社協活動支援事業
① 市町村社協会長視察研修《継続・自主：294 千円》
開催地：上越市
② 市町村社協職員課題別研修《継続・自主、補助：633 千円》
(3) 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進《継続・補助：826 千円》＜活動指針＞
① 市町村社協が抱える社会課題の抽出及び検討
・市町村社協への個別訪問調査
・課題解決に向けた検討チームの設置、課題抽出・分析
② 地域共生社会の実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり
・プラットフォームづくりの推進
・新たな社会課題の解決に向けた具体的取組
(4) ボランティア活動・社会貢献活動推進事業
① 災害時福祉支援活動の推進《継続・補助：245 千円》
・災害支援コーディネーター養成研修（初級・中級・上級）
② 福祉教育の推進《継続・補助：254 千円》
・福祉教育推進セミナー（基礎・実践）
(5) 福祉団体との連携・協働を基盤とした政策提言、要望活動《継続・自主：300 千円》
・福祉団体との懇談会の開催や共同要望活動の実施
(6) 災害福祉広域支援ネットワーク協議会の運営
《継続・補助：1,500 千円》
・災害福祉支援チームの研修・訓練等

2　一人ひとりの自立生活づくり

(1) 明るい長寿社会づくり推進事業
① にいがたねんりんピック《継続・補助：3,885 千円》
② 全国健康福祉祭選手派遣《継続・補助：5,385 千円》
開催：神奈川県　11 月 12 日～ 15 日
③ シニアカレッジ新潟《継続・補助：11,394 千円》
④ シニアカレッジ新潟卒業後の地域活動・交流促進事業《継続・補助：454 千円》
⑤ 高齢者等の健康増進・地域参画促進に向けた講演会《継続・補助：223 千円》
(2) 認知症コールセンター事業《継続・委託：2,175 千円》
(3) 障害者福祉活動推進事業《継続・補助：9,263 千円》
① 福祉の店パレット新潟店運営事業
② 障害者施設商品のコンプライアンス強化
③ 農福マルシェの開催
④ 障害者施設による販売業務の実施（施設外就労）
⑤ 障害者就労×持続可能なビジネスモデルの展開
(4) 生活福祉資金貸付事業《継続・補助：貸付金交付額 119,574 千円》
(5) 新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業
《一部新規・継続・補助：貸付金交付額 24,720 千円》

シニアカレッジ新潟

(6) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業《継続・補助：貸付金交付額 27,898 千円》
(7) 自立生活を支えるための包括的な総合相談・生活支援体制づくりの推進
《継続・補助：150 千円》＜活動指針＞
① 生活困窮者自立支援に関わる社協職員等研修
② 生活福祉資金事務担当者研修会

3　利用者主体の福祉サービスづくり

（1）地域における権利擁護体制の推進＜活動指針＞

① 日常生活自立支援事業

《一部新規・補助：45,975 千円》

・29 社協に委託し実施

・業務監督実地指導《一部新規》

・専門員研修会

・生活支援員研修会

・人材育成推進ワーキング・チーム《一部新規》

② 成年後見制度普及促進事業

《一部新規・委託、共募、自主：4,221 千円》

・法人後見訪問検討会《新規》

・法人後見・権利擁護センター等推進研修会《新規》

（2）福祉サービス利用者の苦情解決の支援

《継続・補助：6,202 千円》

・福祉サービス運営適正化委員会事業

4　福祉を支える人づくり

（1）福祉人材の確保等

① 福祉人材センター運営事業《継続･委託:10,212 千円》

・新潟市、長岡市、上越市での就職等相談の実施

・出張相談会の実施

・福祉のしごと就職フェア

・介護施設見学会の開催

② 福祉職の魅力についての啓発の推進

《継続・委託：3,974 千円》＜活動指針＞

・インタビュー動画作成《継続》

・福祉職場体験

・職場体験レポート《継続》

・インスタグラムによる情報発信《継続》

・関係団体・法人等との連携事業《継続》

③ 介護福祉士等修学資金貸付事業

《継続・補助：貸付金交付額 239,620 千円》

・介護福祉士・社会福祉士修学資金

・介護福祉士実務者研修受講資金

・離職介護人材再就職準備金

④ 保育士修学資金貸付等事業

《新規・補助：貸付金交付額 72,360 千円》

・保育士修学資金

・潜在保育士再就職準備金

⑤ 県民介護知識・技術習得講座実施事業

《継続・委託：3,889 千円》

・県民介護知識・技術習得講座

⑥ 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業《新規・委託：11,000 千円》

・相談窓口の設置

・試用貸出の実施

・体験展示の整備

・勉強会・連絡会議等への参加

（2）社会福祉研修センター運営事業

《一部新規・委託、自主：9,018 千円》

・早期離職防止研修《新規》

・ハラスメント防止対策研修《新規》

・事務職員研修（隔年）

・法人・事業所に対しての研修事業に関する調査

（3）介護支援専門員実務研修受講試験事業

《継続・委託：5,124 千円》

試験日：10 月 9 日

開催地：新潟市、三条市　他

5　法人運営機能の強化

（1）会計監査人設置・内部管理体制の整備

《継続・自主・2,772 千円》

（2）職員の育成･組織力向上《継続･自主:1,135 千円》

・OJT 研修、スキルアップ研修、組織力向上研修等

（3）新潟ユニゾンプラザの管理運営

《継続・補助：112,248 千円》

（4）県社協事業継続計画（BCP）の評価･改善《継続》

事業計画体系図

新潟県社会福祉協議会　令和４年度当初予算　資金収支予算内訳表

（単位：千円）

会計単位／事業区分／拠点区分　等	収支等区分	R４当初予算 (a)	R３当初予算 (b)	増　減 (c)
1　一般会計	総収入	2,804,504	2,749,223	58,711
	総支出	2,378,229	2,204,746	176,913
	当期末支払資金残高	426,275	544,477	△118,202
⑴　社会福祉事業　合計	総収入	424,176	423,805	371
	総支出	356,782	373,892	△17,110
	当期末支払資金残高	67,394	49,913	17,481
①法人運営事業（理事会・評議員会など）	総収入	63,887	74,857	△10,970
	総支出	50,236	67,885	△17,649
	当期末支払資金残高	13,651	6,972	6,679
②連絡調整事業（要望活動、福祉団体懇談会など）	総収入	5,541	6,185	△644
	総支出	5,541	6,185	△644
	当期末支払資金残高	0	0	0
③企画・広報事業（広報活動、顕彰事業など）	総収入	8,048	19,267	△11,219
	総支出	8,048	19,267	△11,219
	当期末支払資金残高	0	0	0
④地域福祉活動推進事業（成年後見促進・法人後見支援事業、市町村社協支援など）	総収入	37,017	36,992	25
	総支出	37,017	36,992	25
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑤高齢者福祉活動推進事業（明るい長寿社会づくり事業など）	総収入	87,470	82,668	4,802
	総支出	87,470	82,668	4,802
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑥障害者福祉活動推進事業（福祉の店パレット新潟店など）	総収入	16,174	13,793	2,381
	総支出	13,309	13,111	198
	当期末支払資金残高	2,865	682	2,183
⑦福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業など）	総収入	68,961	68,965	△4
	総支出	68,961	68,965	△4
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑧福祉従事者確保・就労促進事業（福祉人材センター事業、福利厚生センター事業など）	総収入	64,215	64,581	△366
	総支出	64,215	64,581	△366
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑨共同募金配分金事業（福祉にいがた発行事業、県民福祉大会など）	総収入	12,094	13,165	△1,071
	総支出	12,094	13,165	△1,071
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑩助成事業（福祉施設への助成）	総収入	7,362	8,290	△928
	総支出	7,362	8,290	△928
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑪基金管理運営事業（県民たすけあい基金など）	総収入	82,736	80,078	2,658
	総支出	31,858	37,819	△5,961
	当期末支払資金残高	50,878	42,259	8,619
⑵　公益事業　合計	総収入	2,275,838	2,216,096	59,742
	総支出	1,910,244	1,709,396	200,848
	当期末支払資金残高	365,594	506,700	△141,106
①福祉従事者養成・資質向上事業（社会福祉研修センター事業）	総収入	21,178	24,478	△3,300
	総支出	15,815	18,256	△2,441
	当期末支払資金残高	5,363	6,222	△859
②介護支援専門員養成・資質向上事業（ケアマネ実務研修受講試験事業）	総収入	27,800	26,328	1,472
	総支出	14,281	14,772	△491
	当期末支払資金残高	13,519	11,556	1,963
③福祉従事者退職共済事業	総収入	1,484,475	1,439,340	45,135
	総支出	1,484,475	1,439,340	45,135
	当期末支払資金残高	0	0	0
④貸付事業（介護福祉士等修学資金など）	総収入	742,385	725,950	16,435
	総支出	395,673	237,028	158,645
	当期末支払資金残高	346,712	488,922	△142,210
⑶　収益事業　合計	総収入	109,787	111,189	△1,402
	総支出	116,500	123,325	△6,825
	当期末支払資金残高	△6,713	△12,136	5,423
①新潟ユニゾンプラザ管理運営事業	総収入	109,787	111,189	△1,402
	総支出	116,500	123,325	△6,825
	当期末支払資金残高	△6,713	△12,136	5,423

※社会福祉法人会計基準により内部取引を相殺消去して表記しているため、各事業間の合計は一致しません。
※総収入額に前期末支払資金残高を含めています。

緊急小口資金

総合支援資金（初回）

緊急小口資金等特例貸付

６月末まで受付期間延長

新潟県社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯へ、市区町村社会福祉協議会を窓口に「緊急小口資金等特例貸付」を実施しています。この緊急小口資金等特例貸付の受付期間が延長されました。

一時的な資金を貸し付ける「緊急小口資金」と、生活の立て直しを支える「総合支援資金（初回）」の受け付けは令和４年６月末までとなりました。

新型コロナウイルス感染症はいまだ県民生活に大きな影響を与えています。生活上のお困り事を含め、貸し付けのご希望については、お住まいの市区町村の社会福祉協議会へご相談ください。

貸付制度のご案内

厚生労働省の要綱に基づき、国と新潟県（ひとり親家庭高等職業訓練促進資金は新潟市も）が貸付原資を出し合い、新潟県社会福祉協議会が運営する貸付制度について、ご案内します。

※各貸付制度の詳細や借入申込申請時期は、新潟県社会福祉協議会のホームページで確認できます。

児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

目　的　児童養護施設等を退所した人などの就職や進学、資格取得を支援します。

貸付対象　児童養護施設を退所、里親等委託解除した人、または退所・委託解除後５年以内の人。資格取得支援費は入所中・委託中の人も可能。

貸付額
①生活支援費：月額５万円以内
（大学等への進学者の生活費）
②家賃支援費：家賃額
※上限あり
（大学等への進学者、または就職者の１カ月当たりの家賃相当額）
③資格取得支援費：25万円以内
（児童養護施設等入所者の資格取得費用）

※新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、経済的に厳しい状況にある人への支援内容を一部拡充しました。詳細はお問い合わせください。

返還免除　就職した日から５年間(資格取得支援費は２年間)就業した場合、返還が免除されます。

【お問い合わせ先】
新潟県社会福祉協議会　生活支援課
TEL　025-281-5605
新潟県社協　検索
ＨＰ　上部メニューバー左上「生活支援」へ

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

【訓練促進資金】

目　的　ひとり親家庭の親の方の養成機関への入学や取得資格を活かした就職のための準備資金を支援します。

貸付対象　「高等職業訓練促進給付金」を受給している人のうち、取得する資格が必要な業務への従事を希望する人。

貸付額
①入学準備金：50万円以内
（養成施設入学金等）
②就職準備金：20万円以内
（就職する際の準備費用）

返還免除　取得した資格が必要な業務に５年間、従事した場合、返還が免除されます。

【住宅支援資金】

目　的　ひとり親家庭に対し、入居住宅の家賃を支援します。

貸付対象　原則として「児童扶養手当」を受給し、母子・父子自立支援プログラムの策定を受けている人。

貸付額　月額上限４万円、12カ月の範囲内で、最大48万円。

返還免除
①就業していない人が１年以内に就職し、１年間、就業継続した場合。
②就業中の人が１年以内にプログラム策定時より高い所得が見込まれる転職をした後、１年間就業継続した場合。

令和４年度

https://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険　検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

保険金の種類 ＼ プラン			基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）		
年間保険料			350円	500円	550円

＊4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

商品パンフレットは
コチラ

（ふくしの保険ホームページ）

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償（傷害保険）

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者　社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店　株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の 9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

〈SJ21-10723 より抜粋して作成〉

福祉就職フェアin新潟

久々に対面開催 求職者多く活気

福祉関係の求職者と求人事業所側が直接対面する「福祉のしごと就職フェアin新潟」が2月19日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれました。対面のフェアは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止が続いており、2年ぶりの開催となりました。

「福祉のしごと就職フェア」は、県社会福祉協議会の中にある県福祉人材センターの主催です。例年、新潟と長岡、上越の3市を会場に、1年間で計5回ほど開いてきました。

ところが、新型ウイルス感染拡大により、令和2年度は開催中止に。令和3年度も計画しながら開けない状況が続いたため、夏には代わりにオンライン方式のフェアを実施しました。

今回は年度終盤に計画されていた新潟会場を実施。感染状況をにらみながら時期を予定より少し遅らせて、開催にこぎつけました。

当日、会場には求人側として新潟市を中心に、20の福祉関係法人や事業所などがブースを構えました。一方、求職者は来春、卒業を予定する大学生をはじめ、就職希望の約70人が詰め掛けました。求職者は、関心のあるブースに立ち寄り、仕事の内容や勤務時間、待遇、職場の雰囲気などについて、職員から説明を受けていました。

新潟市の女子大学生は「1度で複数の法人に接することができ、ありがたい。直接、話を聞くことで、就職の不安などの解消につながればうれしい」と話し、ブースを回っていました。

対面で開かれた「福祉のしごと就職フェア in 新潟」

障害も生きづらさもオープンに

理解求めて 演奏など披露

新潟でステージイベント

障害や病気、生きづらさなどを抱える人たちが相互理解を目指して音楽演奏などを披露し合う催し「未来地図CANVAS（キャンバス）」が3月12日、新潟市中央区の市歴史博物館構内の旧第四銀行住吉町支店で開かれました。

主催したのは県内の障害者らの4グループでつくる「未来地図プロジェクト」です。ゲストを含め計6グループが出演、約60人が訪れました。

司会者や出演者たちはそれぞれに「引きこもりとアルコール依存でした」「大人になって発達障害と診断されました」など、自己紹介の中で障害や病気などをオープンにしたうえで、パフォーマンスを開始。合唱や独唱を披露しました。

出演者の1グループはアラフォーでアイドル活動する2人組ユニットで、明るく踊って歌いました。さらに、発達障害とされ、数学に深く興味を持つという男性は難しい「素因数分解」を解説しました。

出し物が終わるたび、会場は温かい拍手に包まれました。

主催者共同代表の中村優美さんは「せっかくできたグループのつながりを大事にするため、こうしたイベントを今後も開きたい」と話していました。

障害などのある仲間たちが熱演した「未来地図 CANVAS」

令和4年度 共同募金 広域助成事業を募集

県共同募金会は、令和4年度「共同募金広域助成事業」を募集します。

要項・申請書は当会のホームページからダウンロードしてください。

令和4年度共同募金広域助成事業募集のお知らせ

1	事業名	県広域福祉団体助成
	対象事業	県域を単位とする民間の福祉団体が実施する社会福祉事業等
	助成基準	事業費の80%を上限
2	事業名	社会福祉施設整備助成
	対象事業	高齢者・障がい者・児童などを支援する法定施設で、施設利用者の処遇向上のための備品・車両の整備、施設の増改築や改修など
	助成基準	事業費の75%(施設改修、備品整備は200万円、車両整備は150万円を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
3	事業名	地域活動支援センター等支援助成
	対象事業	地域活動支援センター等が実施する研修・交流会の開催、建物の修繕、作業用備品の購入、自主製品の材料購入、送迎用車両の購入など
	助成基準	原則として事業費の90%を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
4	事業名	地域活動支援助成
	対象事業	社会福祉法人、NPO法人、自治会等の地域団体、社会福祉活動を行う非営利団体・グループが公的助成の対象とならない「生活支援事業」「交流支援事業」「移動支援事業」を実施するために必要な経費
	助成基準	原則として事業費の90%(事業内容に応じ100万円から10万円)を上限

申請の締切りは5月20日(金)消印有効です。

また、市町村共同募金委員会でも公募事業を実施していますので、各地域の共同募金委員会にお問い合わせください。

問い合わせは新潟県共同募金会、電話025(281)5532。

ホームページURLは http://www.akaihane-niigata.or.jp

「新潟 赤い羽根」で検索してください。

赤い羽根情報

赤い羽根から助成

生活困窮世帯へ毎月食品配布会

フードバンクさど

新潟県共同募金会による令和3年度「赤い羽根 新型コロナ下の福祉活動応援助成」を受け、ボランティア団体「フードバンクさど」(佐渡市、平田緑代表)は令和3年7月から毎月1回、ひとり親世帯や生活困窮世帯、障がい者世帯を対象に食品配布会を実施しています。

活動は支援が必要な人たちの安心につながっていると自負しています。

毎月の配布会に「本当に助かっています」などの声が多数、寄せられています。また、段ボール箱いっぱいのお米や食品を見た子どもたちはとてもうれしそうな笑顔で「ありがとう」と言っていました。

寄付された食品を仕分け

そのほか、生理用品の配布も手掛けたところ、父子家庭の娘さんは生理用品が欲しくてもなかなか言い出せずに困っていたそうで「本当に助かりました」という声もありました。

困難が続く状況だからこそ、助け合いが大切だと思います。地域の助け合いの輪と食品支援を通し子どもの命や家族を支え続けることを目指します。

ご寄付やご協力された皆様に改めて感謝します。

良い子も食品配布会準備のお手伝い

ユニゾンの図書館

新たに90冊仲間入り

新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区上所2）の2階にある図書情報ルーム（ユニゾンの図書館）へ、話題の本やコミックスなど、新たに90冊が入りました。一部を紹介します。

× × ×

学生時代の細身と打って変わり、社会人になっても成長期が続いた小生、健康診断のたび「肥満」と注意されてきた。ところが、有名な精神科医の和田秀樹氏は著書**「70歳が老化の分かれ道」**で「長生きなのは少々ふっくらタイプ」「70代はダイエットしてはいけない」と説く。また、メタボ検診の提唱者という医学者はふっくらタイプにもかかわらず80代になってもダイエットの気配なし、とか。

小生のふっくらは「少々」で済むか、議論があるにしろ、自分の味方をしてくれる一冊に思えた。だが、本書は「ふっくらの薦め」ではない。人生100年時代の70代を「人生最後の活動期」と定め「いつまでも現役であろうとすることが晩年を元気に過ごす秘訣」と、70代の過ごし方を医師としてアドバイスする。

続いては**「介護予防に役立つ　ごぼう先生の大吉体操」（DVD付き）**。「大人のための体操のお兄さん」を自認する「ごぼう先生」こと、築瀬寛（やなせひろし）さんの一冊。

ごぼう先生は昨秋、来県。イベント「知る・学ぶ『福祉・介護・健康』」の新潟、上越の2会場でユーモアたっぷりに簡単体操を紹介、大好評だった。本書も「座ってできる体操」として、道具を「使う体操」「使わない体操」計8種をDVD付きで紹介している。

最後に**「認知症世界の歩き方」**。著者の大学教授筧（かけい）裕介氏はデザイナーでもあり、医療が「病」を見て「病状」に対処するように「人」を見て「生活」を作り直すアプローチもあると説く。

当事者の視点で認知症を知ることのできる本を目指したという。「乗るとだんだん記憶をなくすミステリーバス」「人の顔がわからなくなる　顔無し族の村」など、ストーリー仕立てで、症状や行動などをイラスト入りで読みやすく表した。

ただ、認知症状への対処法などはなく「誰に向けて書いた本か？」と、介護で深刻な家族などからは不満もあるようだ。

誰しも無縁とは言えない認知症。知ることから始めるのも悪くない、のでは。

新着図書リスト（一部）

◆ 編集部おすすめ ◆	著者等
認知症世界の歩き方	筧裕介
やさしくない国ニッポンの政治経済学	田中世紀
老後の資金がありません	垣谷美雨
発達障害という才能	岩波明
「眼の筋トレ」でスッキリ！　よく見える！ 1日3分ビジョントレーニング	北出勝也監修
精神科医が教えるストレスフリー超大全	樺沢紫苑
スマホ脳	アンデシュ・ハンセン
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー．2	ブレイディみかこ
ケアマネジャーはらはら日記	岸山真理子
交通誘導員ヨレヨレ日記	柏耕一
70歳が老化の分かれ道	和田秀樹
認知症の人の心を知り、「語り出し」を支える	大塚智丈
新しい考え方の口腔ケア―生涯現役―	庄内晃二
52ヘルツのクジラたち	町田そのこ
ライオンのおやつ	小川　糸
家族じまい	桜木紫乃
養老先生、病院へ行く	養老孟司　中川恵一
介護予防に役立つごぼう先生の大吉体操	築瀬寛
ひきこもりの真実	林恭子
ルポ中高年ひきこもり親亡き後の現実	NHKスペシャル取材班
生きるぼくら	原田マハ
ジェンダー視点で学ぶ女性史	澤田季江
生きるためのフェミニズム	堅田香緒里
みんな自分らしくいるためのはじめてのLGBT	遠藤まめた
パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ！	前田晃平
男性育休の教科書	日経xwoman編
シングルマザーの貧困はなぜ解消されないのか	中囿桐代
ジェンダー分析で学ぶ女性史入門	総合女性史学会編
「男らしさ」はつらいよ	ロバート・ウェッブ
虐待予防のための子育て支援プログラム	藤原映久
それ、やってはいけない！　ハラスメント大全	野原蓉子監修
トラウマと共に生きる	森田ゆり編著

福祉団体懇談会

オンラインか対面か 研修や会議どう開催

一律の基準設定は難しく

県内の福祉団体が意見交換する令和3年度第2回「福祉団体等懇談会」（主催・県社会福祉協議会）が2月14日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれました。新型コロナウイルス感染下での会議や研修の開催方式について、意見が交わされました。

感染禍の影響により、オンラインの会議や研修が急速に普及。しかし、対面方式も利点があるため、どのように使い分けるか、各団体とも模索している様子が浮き彫りになりました。

今回の福祉懇談会は、新型ウイルスのオミクロン株による感染第6波がとどまらない状況下の開催となりました。令和3年7月の前回に引き続き、オンライン形式と対面との併用方式で開かれました。

参加したのは県保育連盟、県老人福祉施設協議会、県母子寡婦福祉連合会など16団体。ほとんどがオンライン参加でした。

情報交換の部で県介護福祉士会の大井秀行会長が感染下での「会議・研修会の開催方式や基準」について「会議や研修はオンライン利用が多くなっているが、対面方式が必要なこともある。開催方式の基準をどうすべきか、知恵を借りたい」と、各団体に対して問題提起しました。

令和３年度第２回「福祉団体等懇談会」

県老人福祉施設協議会の井野端（いのはた）司副会長は「オンライン方式が中心だ。新潟県は縦に長く（対面も併用する）ハイブリッド方式も開きたいが、基準は設けていない」と述べました。

県社会福祉士会の渡辺陽一会長も「研修会などはすべてオンライン方式だが、基準の整備はできていない」としました。

続いて、県社会福祉協議会の関原貢常務理事・事務局長は「会議や研修はオンラインで十分か、対面との併用がいいのか―。感染禍が過ぎた後を視野に、今から開催方式を考えようと（職員に）呼び掛けている」などと述べました。

懇談会で開催方式の基準を「設けている」とした団体はありませんでした。

◆人事異動◆

新潟県社会福祉協議会

（4月1日付）

総務管理課主任（企画広報課主任）本間一生▽企画広報課参事（企画広報課長代理）佐藤正弥＝昇任▽同課主査（地域福祉課主任）寺口祐司＝昇任▽同課主事、兼務・認知症コールセンター、福祉サービス運営適正化委員会事務局主事（認知症コールセンター、福祉サービス運営適正化委員会事務局主事）山本実央▽地域福祉課主任（福祉人材課主事）安達勝彦＝昇任▽同課主事（総務管理課主事）清川祐介▽生活支援課参事（地域福祉課長代理）目﨑幹生＝昇任▽福祉人材課長代理（生活支援課長代理）勢能 渉

【採用】

事務局次長兼総務管理課長・品田英光

【退職】＝3月31日付

藤田伸一・事務局次長兼総務管理課長

パレット新潟店営業日

2022年　4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

…は休業日

編集後記

新聞社に勤めていた若い頃、休日出番で出社すると催し物取材を割り振られた。行った先のステージで視覚障害者の男声合唱団が歌っていた。その曲「前をみつめて」に、こみ上げるものを感じた。

視覚障害者の現実と夢、仲間への思いなどが魂の叫びに聞こえた。胸を打たれた。その曲を作った鈴木洋さんがソロコンサートを開くと昨秋、新聞で知り、懐かしさもあって、取材を申し込んだ。

自宅では読み上げソフトでパソコンを使いこなす。お風呂は音声が「わきました」と伝える。便利になったとはいえ、不便は完全にはなくならず、危険も潜む。どうか、細心の注意で暮らし続けてほしい。私たちにまた、魂の歌声を届けてくれるためにも。（佐）

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。

発行所／社会福祉法人　新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2－2－2ユニゾンプラザ
☎ 025－281－5584
発行人／関原　貢
定　価／５円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和４年４月1日発行（毎月1日発行）
印刷／島津印刷㈱